

鋳工業指数参考図表集
(平成29年7月速報)

平成29年8月31日

経済解析室

URL : <http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

平成29年7月の鉱工業指数(速報)各指数の状況

生産・出荷・在庫・在庫率指数

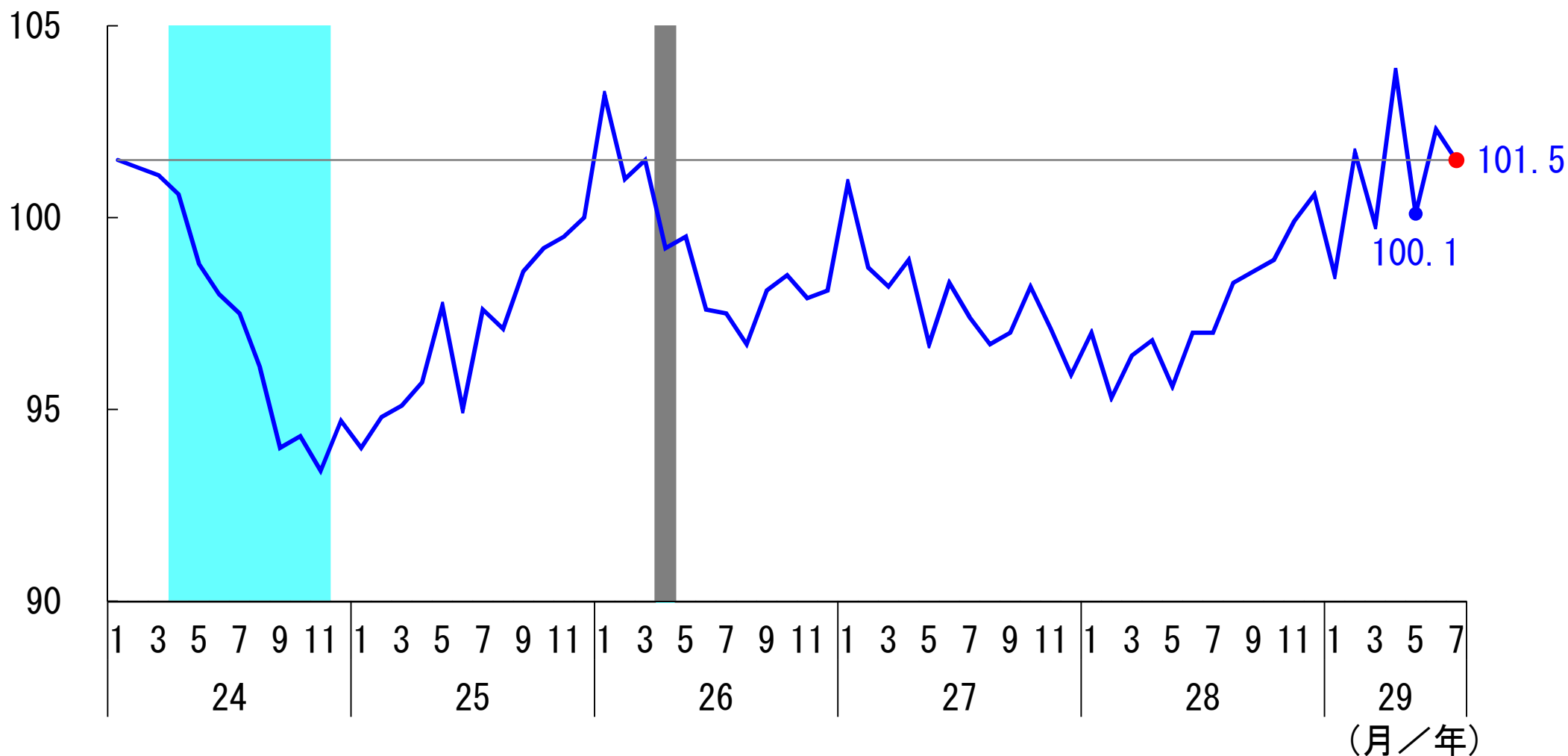
月次	生産	出荷	在庫	在庫率
季調済指数	101.5	100.0	107.8	113.1
前月比	-0.8%	-0.7%	-1.2%	2.4%
指数水準	H29.5 100.1以来 ①H21.2 76.6 ②H21.3 77.6 ③H21.4 81.0	H29.5 98.2以来 ①H21.2 79.2 ②H21.3 79.7 ③H21.4 80.7	H29.1 107.4以来 ①H23.3 97.7 ②H22.8 98.3 ③H21.12, H22.9 99.1	H29.4 114.7以来 ⅠH21.2 155.6 ⅡH21.1 150.2 ⅢH21.3 146.3
前月比の動き	2か月ぶり- (H29.5以来)	2か月ぶり- (H29.5以来)	2か月連続- (H29.6~当月)	3か月ぶり+ (H29.4以来)
前月比幅	H29.5 -3.6%以来 ①H23.3 -16.5% ②H21.1 -8.8% ③H21.2 -8.6%	H29.5 -2.9%以来 ①H23.3 -15.7% ②H21.1 -9.5% ③H20.12 -7.1%	H29.6 -2.0%以来 ①H23.3 -5.8% ②H21.2 -3.9% ③H21.3 -3.1%	H29.4 2.9%以来 ⅠH20.11 13.2% ⅡH20.12 9.9% ⅢH21.1 9.8%
前年同月比(原指数)	4.7%	4.1%	-2.4%	-2.6%
前年同月比の動き	9か月連続+ (H28.11~当月)	9か月連続+ (H28.11~当月)	14か月連続- (H28.6~当月)	9か月連続- (H28.11~当月)
前年同月比幅	H29.6 5.5%以来 ⅠH22.3 29.2% ⅡH22.2 28.8% ⅢH22.4 23.8%	H29.6 5.3%以来 ⅠH22.3 28.4% ⅡH22.2 27.0% ⅢH22.4 25.4%	H29.6 -2.9%以来 ①H21.12 -17.6% ②H22.1 -16.8% ③H21.11 -16.4%	H29.6 -4.3%以来 ①H22.2 -34.0% ②H22.3 -33.8% ③H22.1 -32.1%

1) Ⅰ～Ⅲは22年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

鉱工業生産指数の動向

- 平成29年7月の鉱工業生産指数は、101.5(前月比-0.8%)と2か月ぶりの低下。
- 平成29年5月の100.1以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)



(注) 1. 鉱工業指数(IIP)とは、月々の鉱工業の生産、出荷、在庫等を基準年(現在は、平成22年)の12か月平均=100として指数化したもので、事業所の生産活動、製品の需給動向など鉱工業全体の動きを示す代表的な指標。
 2. 水色のシャドー部分は、景気後退局面。
 3. 灰色のシャドー部分は、消費税率引上げ。

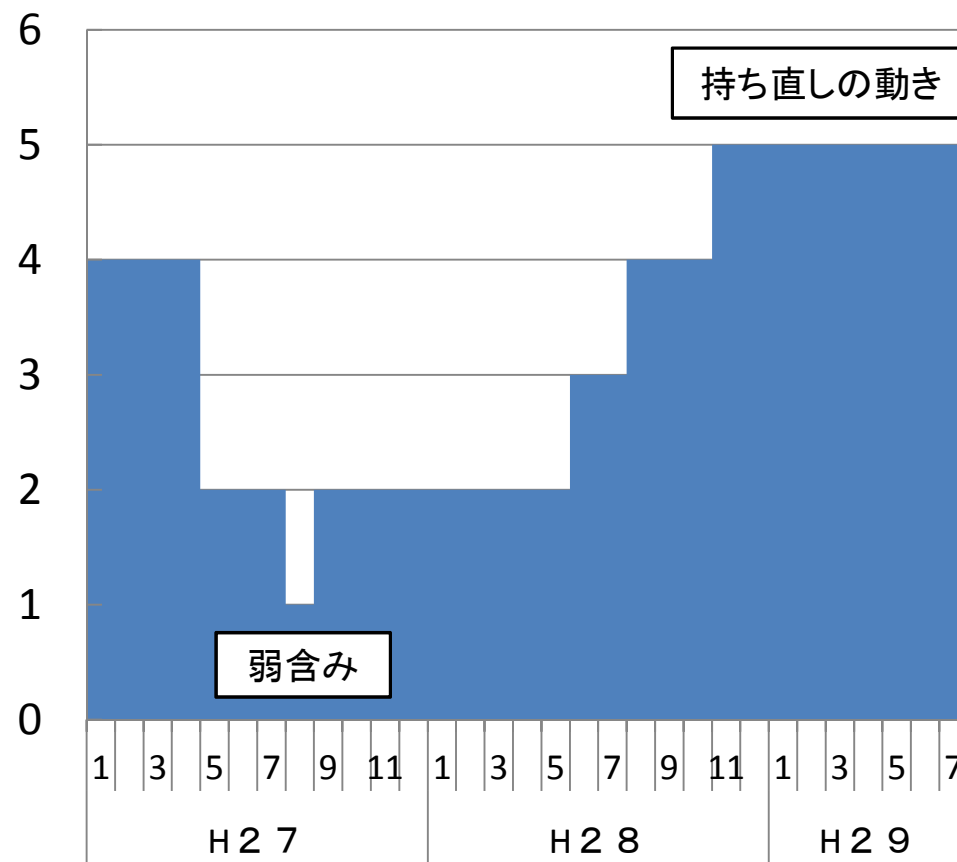
平成29年7月の鉱工業生産の基調判断

「生産は持ち直しの動き」

基調判断の推移

- ・平成26年12月～平成27年4月
「生産は緩やかな持ち直しの動き」
- ・平成27年5月～7月
「生産は一進一退」
- ・平成27年8月
「生産は弱含み」
- ・平成27年9月～平成28年5月
「生産は一進一退」
- ・平成28年6月、7月
「生産は一進一退だが、一部に持ち直し」
- ・平成28年8月～10月
「生産は緩やかな持ち直しの動き」
- ・平成28年11月～
「生産は持ち直しの動き」

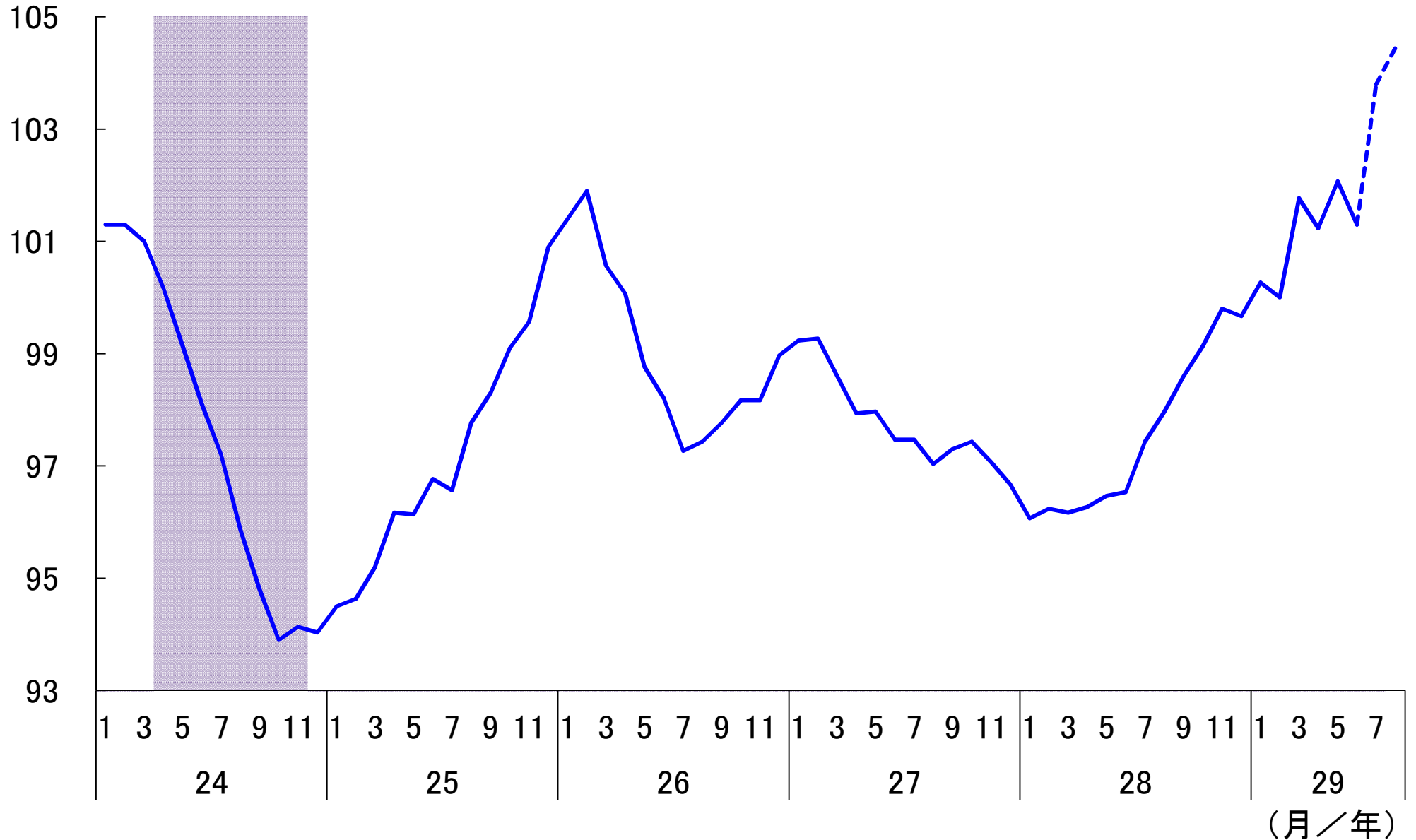
基調判断の変化



(注)平成27年8月の「生産は弱含み」を1として、基調判断が上方修正されたら一律で1上昇、下方修正されたら一律で1低下というルールで作成。

参考：鋳工業生産指数（3か月移動平均値）の動向

（22年＝100、季節調整済）



（注）紫色のシャド一部分は、景気後退局面。

平成29年7月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目（業種別）

		業種・品目名	前月比	寄与率
鉱工業生産を上昇方向へ引っ張った3業種の中で上昇への影響度が大きい2品目	1位の業種	電子部品・デバイス工業	4.3%	47.1%
	品目	集積回路	8.6%	37.5%
		電子部品	2.0%	10.5%
	2位の業種	窯業・土石製品工業	0.8%	3.2%
	品目	ファインセラミックス	2.7%	2.6%
		ガラス・同製品	0.7%	1.1%
3位の業種	石油・石炭製品工業	1.4%	2.9%	
品目	石油製品	1.5%	3.0%	
	石炭製品	0.7%	0.0%	
鉱工業生産を低下方向へ引っ張った3業種の中で低下への影響度が大きい2品目	1位の業種	はん用・生産用・業務用機械工業	-2.5%	-49.3%
	品目	ボイラ・原動機	-12.5%	-19.1%
		半導体・フラットパネル製造装置	-6.9%	-18.9%
	2位の業種	電気機械工業	-2.9%	-25.0%
	品目	開閉制御装置・機器	-8.0%	-15.1%
		電気計測器	-10.6%	-8.8%
3位の業種	化学工業（除. 医薬品）	-1.4%	-18.9%	
品目	プラスチック	-5.3%	-10.2%	
	有機薬品	-5.7%	-8.4%	

寄与率：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。全93業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

(注)全体の各品目は、個別品目ではなく、個別品目を統合した分類によるもの。

平成29年7月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目（全体・財別）

<全体>

		品目名	前月比	寄与率
鉱工業生産を 上昇 方向 に引っ張った3品目	1位	集積回路	8.6%	37.5%
	2位	建設用金属製品	12.9%	11.8%
	3位	金型	16.6%	10.7%
鉱工業生産を 低下 方向 に引っ張った3品目	1位	ボイラ・原動機	-12.5%	-19.1%
	2位	半導体・フラットパネル製造装置	-6.9%	-18.9%
	3位	開閉制御装置・機器	-8.0%	-15.1%

<財別＝用途別>

	解説	品目名	前月比	寄与率
資本財 (除. 輸送機械)	クレーンや金属工作機械など 設備投資に向けられる製品	資本財(除. 輸送機械)	-3.5%	-71.4%
		半導体製造装置	-10.7%	-23.2%
		一般用蒸気タービン	-39.7%	-11.5%
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など 家計で購入される製品	耐久消費財	-2.0%	-25.4%
		軽乗用車	-8.0%	-7.6%
		二輪自動車(125ml超)	-21.2%	-4.1%
生産財	原材料として投入される製品	生産財	-0.2%	-12.6%
		蒸気タービン部品	-45.8%	-12.0%
		モス型半導体集積回路(CCD)	-11.1%	-11.8%
建設財	鉄骨やセメントなど 建設投資に向けられる製品	建設財	0.5%	3.5%
		橋りょう	34.0%	13.7%
		エレベータ	13.6%	1.9%
非耐久消費財	食料品や衣料品など 家計で購入される製品	非耐久消費財	0.9%	16.7%
		美容液	10.0%	7.1%
		モイスチャークリーム	14.0%	5.4%

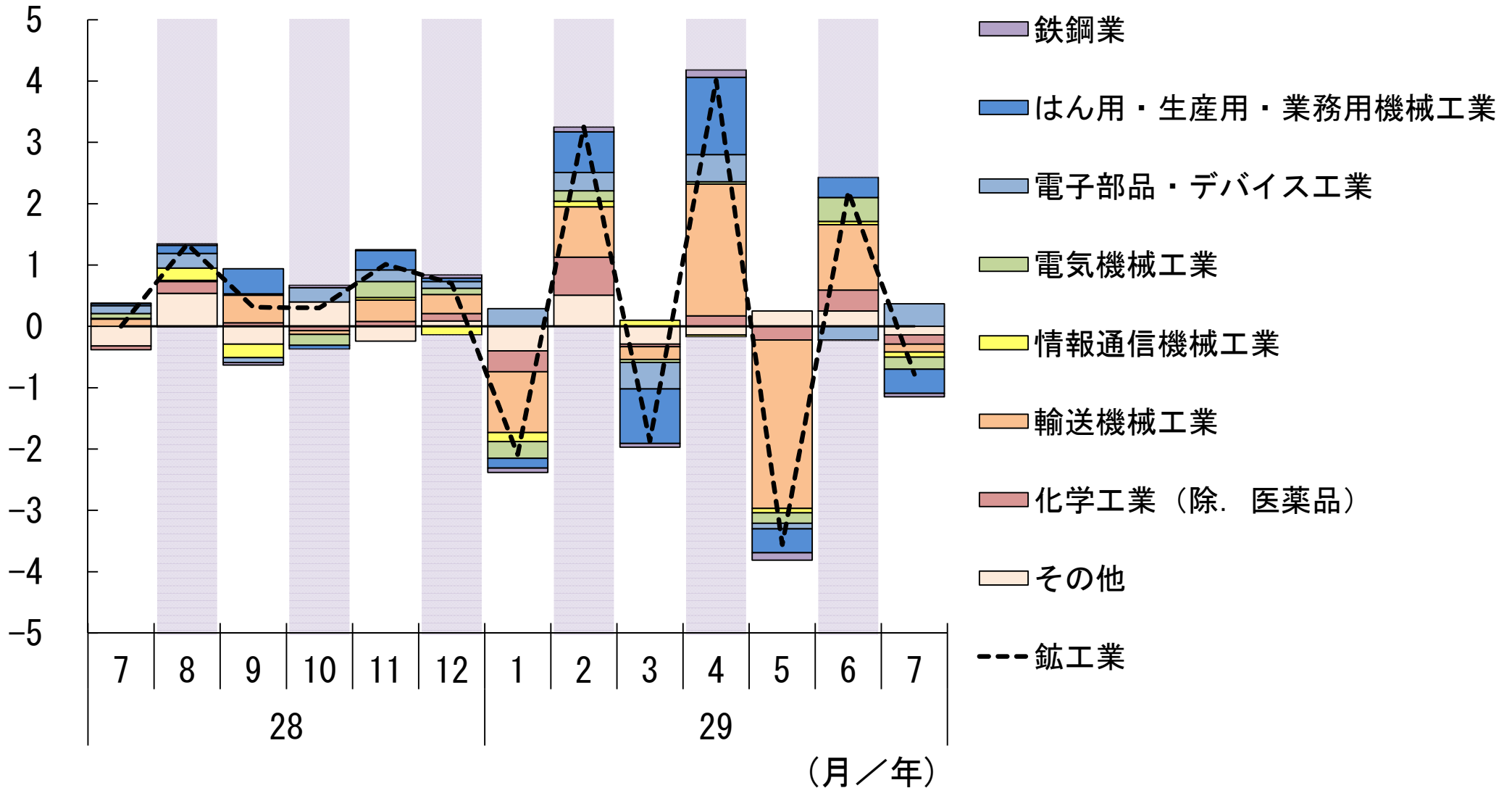
寄与率：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。全93業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

(注)全体の各品目は、個別品目ではなく、個別品目を統合した分類によるもの。

鉱工業生産前月比 業種別の影響度合い

- 平成29年7月の生産指数は、電子部品・デバイス工業が上昇したものの、はん用・生産用・業務用機械工業などが低下したため、前月比-0.8%の低下。

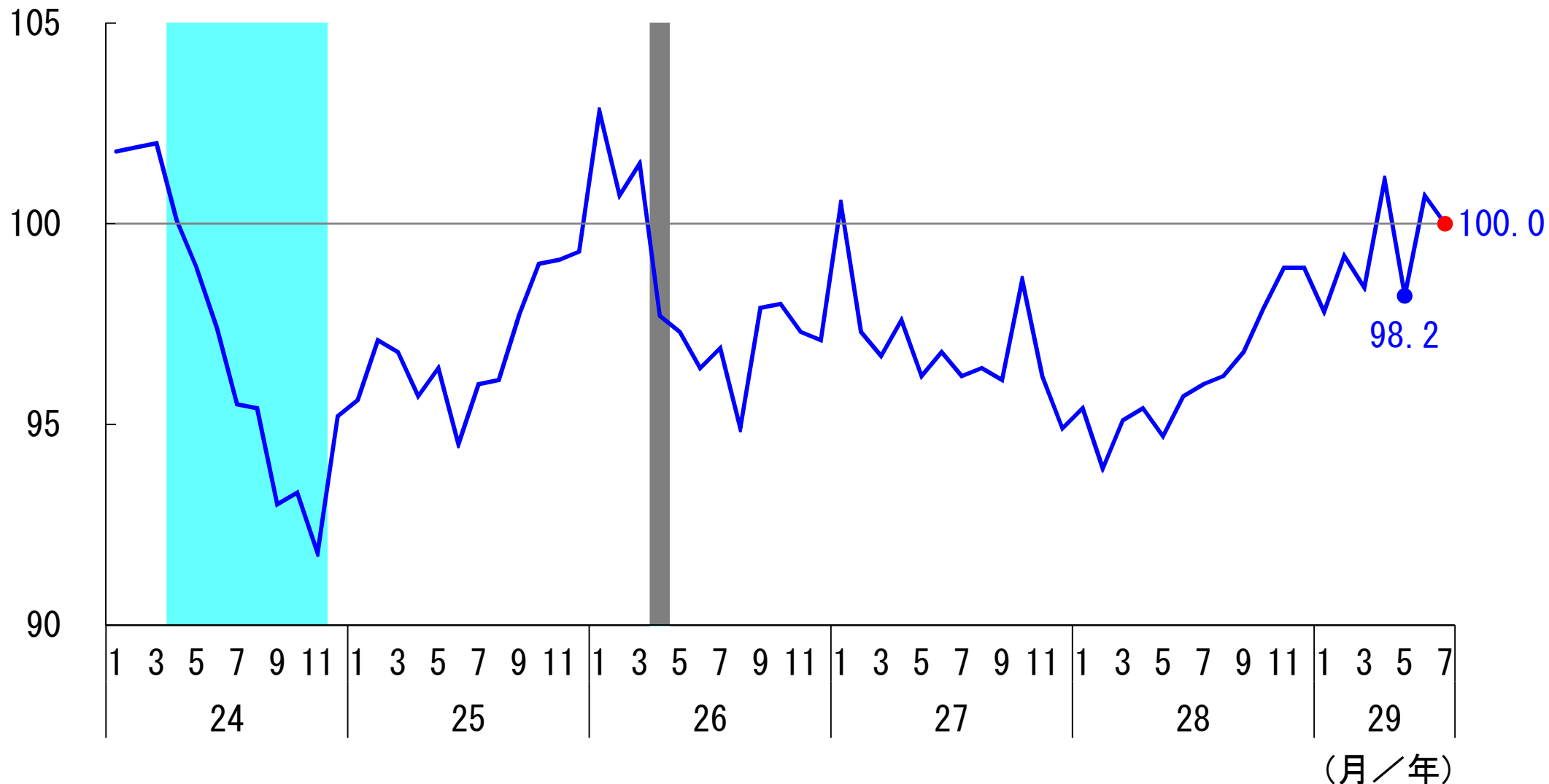
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



鋳工業出荷指数の動向

- 平成29年7月の鋳工業出荷指数は、100.0(前月比-0.7%)と2か月ぶりの低下。
- 平成29年5月の98.2以来の指数水準。

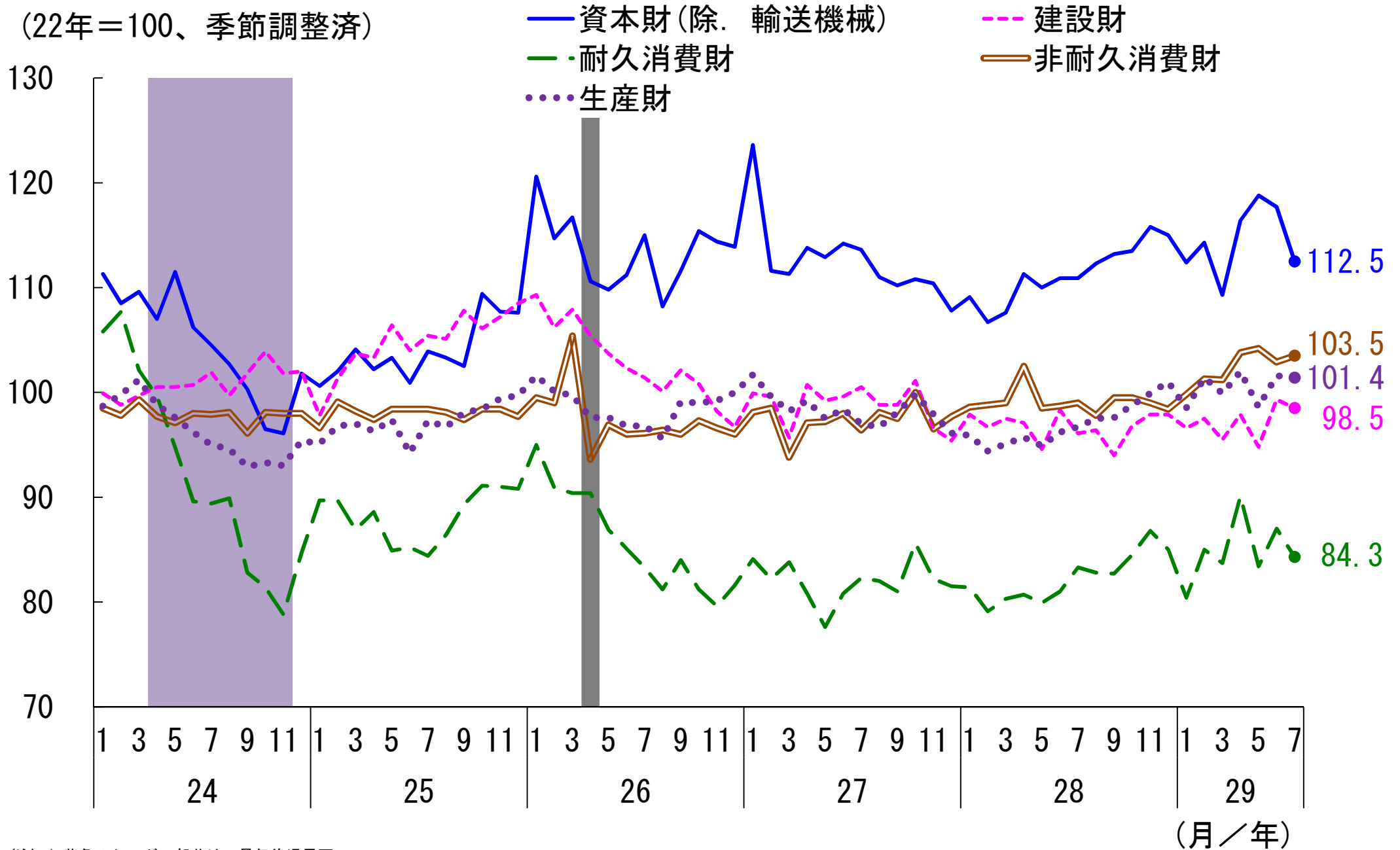
(22年=100、季節調整済)



(注) 1. 水色のシャド一部分は、景気後退局面。
2. 灰色のシャド一部分は、消費税率引上げ。

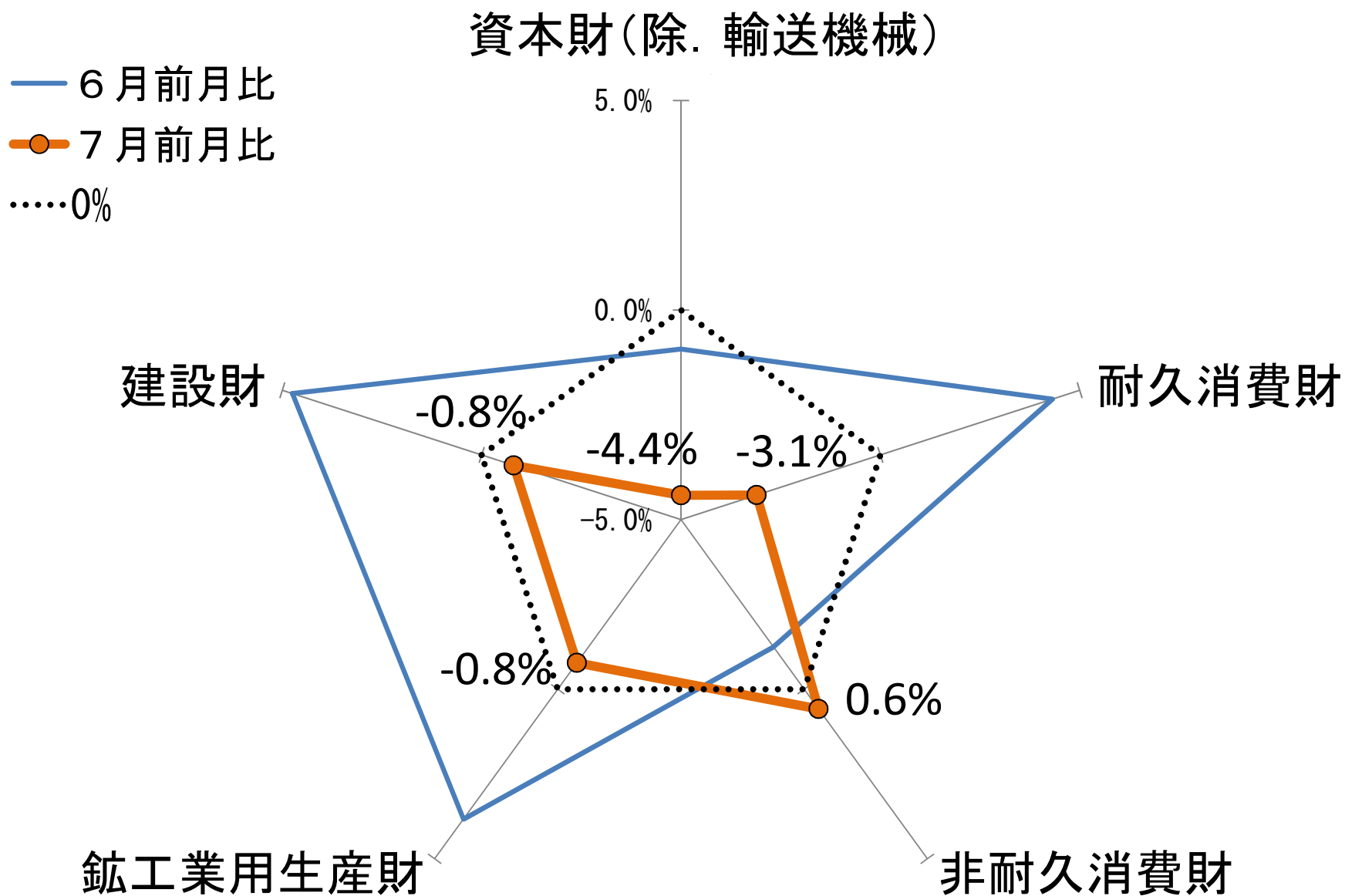
財別出荷指数の動向

(22年=100、季節調整済)



(注) 1. 紫色のシャドー部分は、景気後退局面。
2. 灰色のシャドー部分は、消費税率引上げ。

財別出荷指数の前月比比較（平成29年6月、7月）



平成29年7月の鉱工業出荷指数を大きく動かした品目（財別）

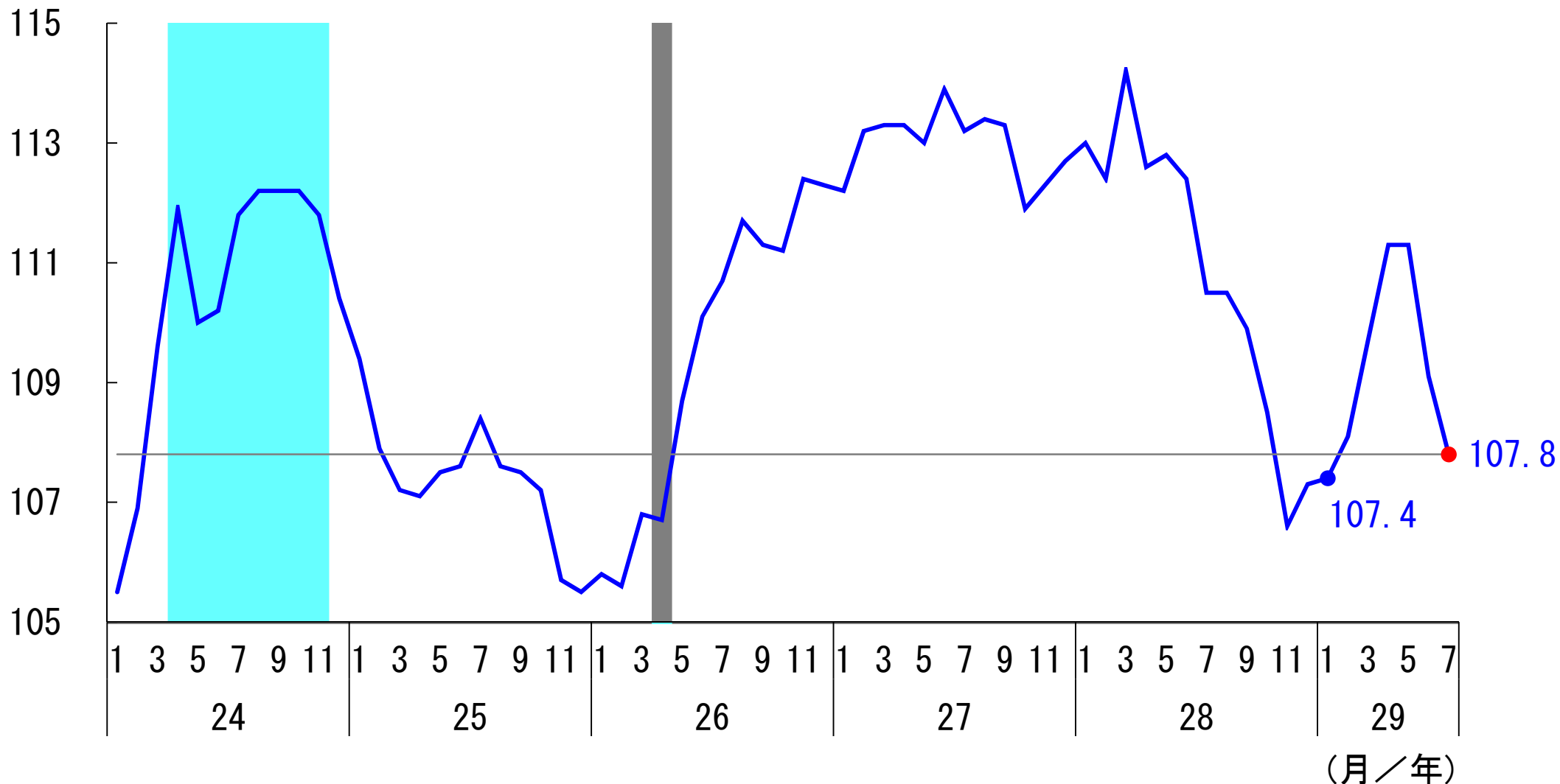
	解説	品目名	前月比	寄与率
資本財	クレーンや金属工作機械など 設備投資に向けられる製品	資本財（除. 輸送機械）	-4.4%	-87.5%
		一般用蒸気タービン	-90.6%	-22.6%
		半導体製造装置	-9.3%	-18.1%
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など 家計で購入される製品	耐久消費財	-3.1%	-58.7%
		普通乗用車	-3.3%	-33.0%
		軽乗用車	-8.1%	-12.9%
生産財	原材料として投入される製品	生産財	-0.2%	-14.4%
		モス型半導体集積回路（CCD）	-11.2%	-16.3%
		特殊鋼熱間圧延鋼材	-8.7%	-13.8%
建設財	鉄骨やセメントなど 建設投資に向けられる製品	建設財	-0.8%	-6.3%
		鉄骨	-6.7%	-3.6%
		ガス温水給湯暖房機	-9.0%	-1.2%
非耐久消費財	食料品や衣料品など 家計で購入される製品	非耐久消費財	0.6%	10.0%
		ガソリン	3.3%	8.0%
		モイスチャークリーム	14.0%	3.7%

寄与率：出荷全体の変動に対して影響を及ぼした、財別の影響の度合い。全ての寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

鋳工業在庫指数の動向

- ・平成29年7月の在庫指数は、107.8(前月比-1.2%)と2か月連続の低下。
- ・平成29年1月の107.4以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)

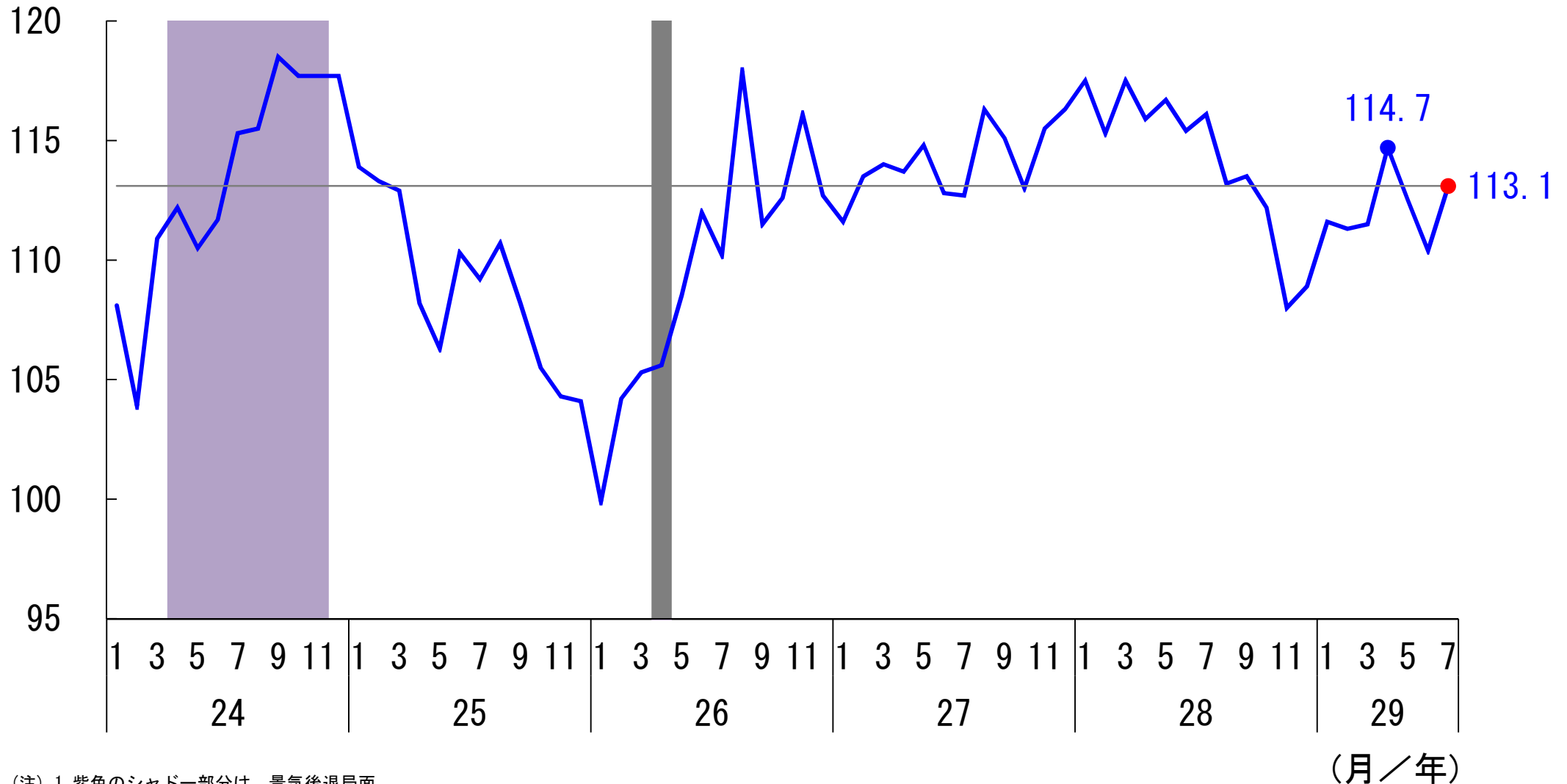


(注) 1. 水色のシャド一部分は、景気後退局面。
2. 灰色のシャド一部分は、消費税率引上げ。

鋳工業在庫率指数の動向

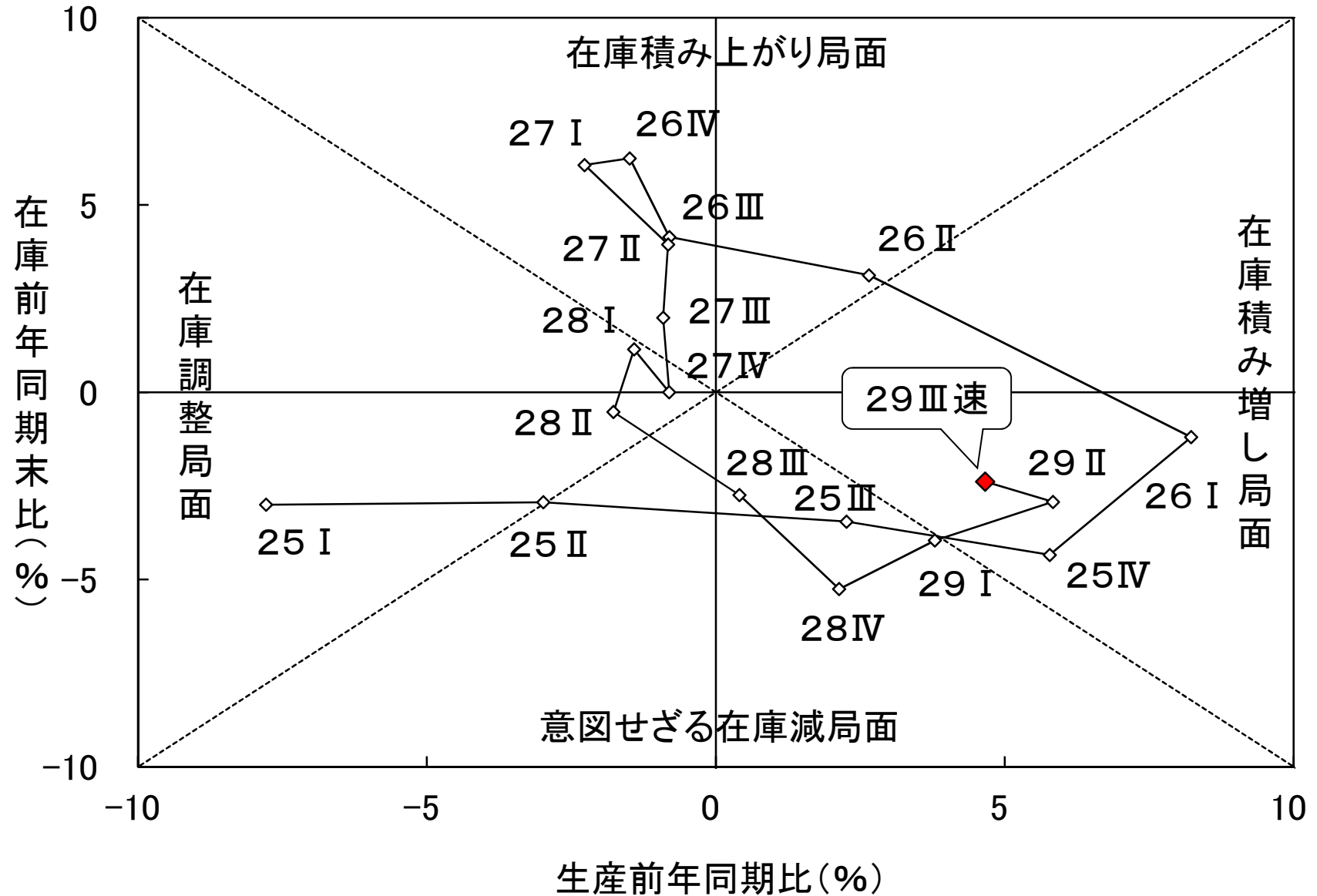
- ・平成29年7月の在庫率指数は、113.1(前月比2.4%)と3か月ぶりの上昇。
- ・平成29年4月の114.7以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)



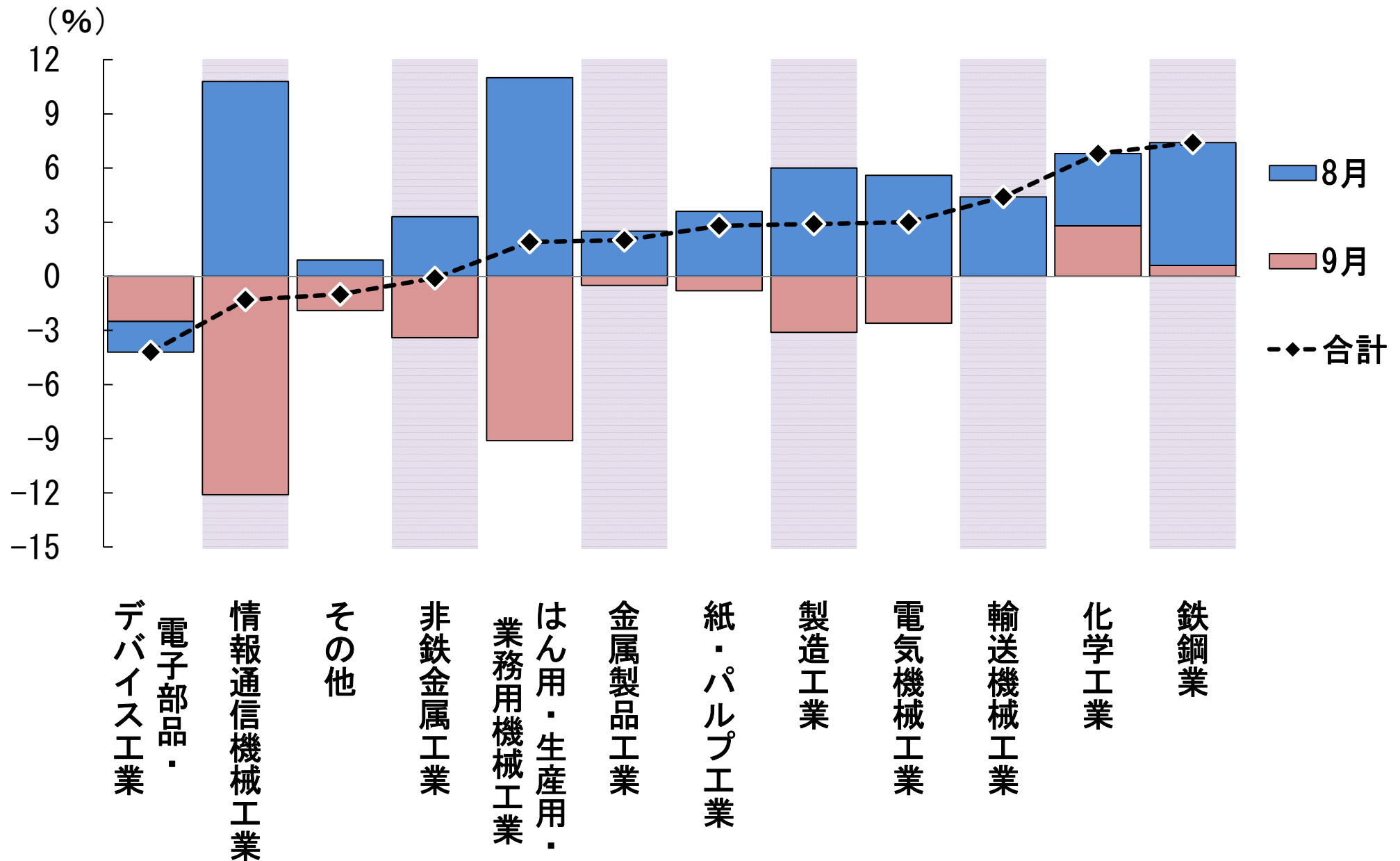
(注) 1. 紫色のシャド一部分は、景気後退局面。
2. 灰色のシャド一部分は、消費税率引上げ。

鋁工業の在庫循環図



(注) 「29 III速」の生産は7月の値、在庫は7月末の値を使用。

2ヶ月の生産予測伸び率（製造工業生産予測指数）



平成29年8月生産計画の寄与順位表

上昇寄与業種	計画前月比
はん用・生産用・ 業務用機械工業	11.0%
輸送機械工業	4.4%
電気機械工業	5.6%
化学工業	4.0%
情報通信機械工業	10.8%
鉄鋼業	6.8%

上昇寄与業種	計画前月比
金属製品工業	2.5%
紙・パルプ工業	3.6%
非鉄金属工業	3.3%
その他	0.9%
低下寄与業種	計画前月比
電子部品・ デバイス工業	-1.7%

(注) 低下寄与業種は、一番下が最も低下寄与（影響度）が大きくなるように並んでいます。

平成29年9月生産計画の寄与順位表

上昇寄与業種	計画前月比
化学工業	2.8%
鉄鋼業	0.6%
低下寄与業種	計画前月比
金属製品工業	-0.5%
紙・パルプ工業	-0.8%
非鉄金属工業	-3.4%

低下寄与業種	計画前月比
その他	-1.9%
電気機械工業	-2.6%
電子部品・デバイス工業	-2.5%
情報通信機械工業	-12.1%
はん用・生産用・業務用機械工業	-9.1%

※輸送機械工業は計画前月比横ばい

(注) 低下寄与業種は、一番下が最も低下寄与（影響度）が大きくなるように並んでいます。